



2. 科目履修上の注意

全学共通科目について

「全学共通科目群」は、全学部で共通に開講する科目群であり、「共生」「健康・スポーツ」「キャリア」「外国語」「日本語」「人文」「社会」「自然」「日本文化」「情報」「海外研修」の区分で構成されています。

これらを通して、共生（ともいき）と勤儉誠実の考え方、及び幅広い教養を身につけます。

1. 「共生」の分野では、「共生人間論Ⅰ（ブッダと法然）」「共生人間論Ⅱ」「共生人間論実習」を開講し、仏教の立場から「共生」について考察します。具体的には、環境や他者の存在により自己が生かされていること、自己中心的な在り方の反省、自己能力の惜しみない提供、相互補完の精神などを学びます。これらを通して、共生と勤儉誠実の考え方を身につけます。
2. 「健康・スポーツ」の分野では、「スポーツ」の実技授業として、バドミントン、テニス、バスケットボールなどを開講します。これらを通して、健康づくりの習慣や、自己管理能力・チームワークなどの態度を身につけます。
3. 「キャリア」の分野では、「キャリアデザインⅠ」「キャリアデザインⅡ」を開講します。これらを通して、職業人として働くことの意義を理解し、社会の発展に貢献する態度を身につけます。
4. 「外国語」の分野では、「総合英語Ⅰ」「総合英語Ⅱ」「総合英語Ⅲ」「英会話Ⅰ」「英会話Ⅱ」「英会話Ⅲ」「中国語Ⅰ」「中国語Ⅱ」「韓国語Ⅰ」「韓国語Ⅱ」「フランス語Ⅰ」「フランス語Ⅱ」「ポルトガル語Ⅰ」「ポルトガル語Ⅱ」「英語リーディング」「英語ライティング」「英語ディスカッション」を開講します。これらを通して、外国語を的確に読み、書き、聞き、話す能力を身につけるとともに、グローバルな視点を持って異文化理解へとつなげます。
5. 「日本語」の分野では、「日本語表現法 A（音声）」「日本語表現法 B（文章）」を開講します。これらを通して、日本語を的確に読み、書き、聞き、話す能力を身につけます。
6. 「人文」の分野では、「日本の歴史」「世界の歴史」「異文化理解」「哲学の基礎」「倫理学の基礎」「心のメカニズム」「日本の文学」「外国の文学」を開講します。これらを通して、多様な文化、思想、歴史について理解するとともに哲学、倫理、心理、文学について理解し、幅広い教養を身につけます。
7. 「社会」の分野では、「憲法と基本権」「社会生活と法」「暮らしと経済」「市民生活と政治」「国際事情」「社会福祉学の基礎」「現代社会と生活」「地域社会と共生」を開講します。これらを通して、幅広い教養を身につけるとともに、社会と人間とのかかわりを理解します。
8. 「自然」の分野では、「生活と環境」「自然と環境」「生命の科学」「生活と化学」「数学入門」を

開講します。これらを通して、幅広い教養を身につけるとともに、自然や環境と人間とのかかわりを理解します。

9. 「日本文化」の分野では、「日本文化論」、さらに「日本の文化（書道）」「日本の文化（華道）」「日本の文化（舞踊）」「日本の文化（陶芸）」を開講します。芸能としての書道・華道、祭礼と関わる舞踊、物づくりの原点としての陶芸を通して、日本各地に伝承される地域文化を比較研究し、本質を考え、その上で日本文化の深層を見極めます。
10. 「情報」の分野では、「情報リテラシー A」「情報リテラシー B」を開講します。これらを通して、情報通信技術を用いて多様な情報を適切に取捨選択し、分析活用する技能を身につけます。
11. 「海外研修」の分野では、本学の提携校における留学経験を通し、語学力を高め、異文化理解を深め、自ら考え行動する力を身につけます。

有資格者の単位認定について

下記に掲げる資格を有する学生は、証明書を持参の上、履修登録開始日から履修登録確認・訂正最終日(16:30)までに教務課へ申し出てください。審議を経て、下記に準じた単位が認定されます。

授業科目名	単位数	認定基準
総合英語Ⅰ／総合英語Ⅱ／ 総合英語Ⅲ／ 英会話Ⅰ／英会話Ⅱ／英会話Ⅲ	2	実用英語技能検定試験 2 級 TOEFL 450 点以上 520 点未満 TOEIC 520 点以上 640 点未満
	4	実用英語技能検定試験準 1 級 TOEFL 520 点以上 550 点未満 TOEIC 640 点以上 810 点未満
	6	実用英語技能検定試験 1 級 TOEFL 550 点以上 TOEIC 810 点以上
中国語Ⅰ／中国語Ⅱ	2	中国語検定試験 3 級以上
韓国語Ⅰ／韓国語Ⅱ	2	韓国語能力試験 2 級以上
フランス語Ⅰ／フランス語Ⅱ	2	実用フランス語技能検定試験 3 級以上
ポルトガル語Ⅰ／ポルトガル語Ⅱ	2	外国語としてのポルトガル語検定試験 (APLE) 準初級以上 ブラジル教育省による外国人のためのポルトガル語検定試験 (CELPE-Bras) 中級以上

注 1. この制度の運用は内規により行います。

2. すでに単位認定された科目についての申請は認めません。